

令和3年度全国中学生・高校生防災会議
「全国防災ジュニアリーダー育成オンライン研修」
募集要項

1 目 的

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震や火山噴火、水害などが頻発している我が国における災害やその対策等の現状を世界にアピールするとともに、次代を担う人材の育成、防災意識と社会参画意識のさらなる向上を目指し、これからの防災・減災の担い手である中学生・高校生を中心とした防災会議を開催する。

2018年度は兵庫、2019年度は東北・熊本を会場として実施した。2020年度は東京を会場として実施することを予定していたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、過去2年間の参加校のフォローアップと、2021年度事業へ取組を繋いでいくことを目的に、2020年度はオンラインで開催した。

2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン開催となるが、「探究の対話(p4c)」を活用のうえ、各学校の防災・減災のアクションプランを作成することをメインプログラムとし、過年度参加校のみならず、多くの学校へ参加を促しさらなる取組の広がりを目指す。

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構

- 3 日 時 【オンライン説明会】令和3年11月20日(土)14:00~15:00(参加任意)
【オンライン会議】令和3年12月18日(土)13:30~17:15
令和3年12月27日(月)13:30~17:15

4 開催方法 ZOOMによるWEB会議(拠点:国立オリンピック記念青少年総合センター)
※事業当日の様子は、参加者以外にもライブ配信を行います。(事前申込制)
【使用を予定しているツール】

ZOOM	……	WEB会議ツール	
YouTube	……	事前動画配信、当日のライブ配信(予定)	
		【URLを知る関係者のみに限定公開】	
Googleスプレッドシート	……	情報共有ツール	
Googleフォーム	……	事前質問を投稿するためのツール	等

- 5 対 象 全国で防災教育や被災地支援活動に積極的に取り組んでいる、またはこれから取り組もうと考えている中学生・高校生及び教員(1校あたりの参加者に制限なし)
(推奨:生徒2~3名程度。ZOOMアカウント数:1校あたり1アカウント)
※教室などの都合により、人数に制限がある場合は代表者2~3名がZoomでの参加、他の生徒は、YouTubeのライブ配信の視聴といった参加方法も可能です。
定員:50校(先着順)

6 参加費 無料(WEB通信料等、WEB会議参加に必要な費用は参加者負担)

7 内 容

(1) オンライン説明会【参加任意】11月20日(土)14:00~15:00

プログラム(予定):ZOOMの接続テスト/事業概要説明/質疑応答

参加申込校を対象としたオンライン事前説明会です。参加は任意(希望する学校のみ)とします。

(2) 講義動画の事前公開 11月1日(月) 13:00~

講師による講義動画を事前に YouTube チャンネルに公開します。

事前に質問を募り、12月18日のオンライン会議にて回答の時間を設ける予定です。

また、12月18日の回答の時間に追加質問も受け付ける予定です。

【講義①】 講義テーマ

東京の防災~想像と創造で災害に備えよう~

東京都総務局総合防災部防災計画課長 濱中 哲彦 氏

【講義②】 講義テーマ

「災害に対する自助と共助の力をどう磨くか？」

日本大学危機管理学部准教授 山下 博之 氏

【講義③】 講義テーマ

~新潟の NPO からの提案~

一緒に創ろう！みんながみんなと Bosai を学べる提案や仕組み

特定非営利活動法人 ふるさと未来創造堂 中野 雅嗣 氏

【講義④】 講義テーマ

今、防災ジュニアリーダーに求められること

宮城教育大学 特任教授 野澤 令照 氏

(3) オンライン会議 1日目 令和3年12月18日(土)

全体ファシリテーター：文教大学 人間科学部 准教授 青山 鉄兵 氏

スケジュール(予定)

13:30	13:45	14:45	16:30	17:00	17:15
開会	【プログラム①】全体 ○講義動画の質疑応答	【プログラム②】グループワーク ○事前学習での学びを共有	【プログラム③】全体 ○アクションプランについて	閉会	

【プログラム①】 講義動画の質疑応答

- ・参加者から寄せられた講義動画に関する事前質問に対し、各講師よりご回答をいただきます。
- また、当日は事前質問以外にも、各参加者のスマートフォン等から匿名でリアルタイムに質問ができる仕組みを用意しておりますので、当日質問も可能です。

【プログラム②】 事前学習での学びを共有

- ・大学生のファシリテーターを交え、事前講義動画のみならず、これまで「学んできた」または「感じてきた」防災や減災について、「p4c」の手法を用いてグループ内での共有や、意見交換を行います。

【プログラム③】 アクションプランについて

- ・メインプログラムであるアクションプランについて、具体的にどのようなものなのか、どのようにして作成してくのかなどを説明いたします。
- ・参加者は、12月18日から12月27日までの間に、それぞれでアクションプランを作成してください。

オンライン会議 2日目 令和3年12月27日（月）

全体ファシリテーター：文教大学 人間科学部 准教授 青山 鉄兵 氏

スケジュール（予定）

13:30	13:45	15:30	17:00	17:15
オリエンテーション	【プログラム④】グループワーク ○アクションプランの発表と意見交換	【プログラム⑤】全体 ○各グループの発表内容などを共有 ○講評 ○グループごとに振り返り		閉会

【オリエンテーション】

- ・一日の流れを説明いたします。

【プログラム④】アクションプランの発表と意見交換

- ・大学生のファシリテーターを交え、いくつかのグループに分かれて、各自が作成してきたアクションプランについての発表と、意見交換をします。

【プログラム⑤】各グループの発表内容などを共有

- ・プログラム④での各グループの様子を全体に共有します。
- ・最後に講師から講評をいただきます。
- ・講師からの講評を受け、各グループにて振り返りを行います。

事業後

令和4年3月上旬をめどに、作成したアクションプランをどう活用したか、どのような活動をしたかを動画にまとめたものを提出いただき、参加者へ共有します。（任意参加）

8 参加申込方法

以下の参加申込フォームに必要事項を記入のうえ、お申込みください。

※申込の時点で参加者を確定させる必要はありません。

参加申込フォーム <https://forms.gle/sNTaVVhyHU4sh6o3A>

申込期限 令和3年10月31日（日） ※先着順

定員50校に達するまでは申込期限後も申込可能です。

参加申込フォーム



9 その他

- (1) 参加申込フォーム等に記載された氏名、住所、電話番号などの「個人情報」は、参加者との連絡や実施に係る情報提供などのために利用するものであり、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。ただし、報告書等の作成にあたっては、氏名等（学校名・学年）を掲載させていただく場合があります。ご了承の上お申し込みください。
- (2) 当日の事業の様子については、他の参加者及び閲覧を希望する事前申込者に公開されます。これらの動画を、閲覧する参加者が記録することはできません。なお、当日の事業の様子は、当機構にて写真や映像として記録し、当機構の広報や報道機関での使用、報告書等に使用することがあります。ご了承の上お申し込みください。
- (3) 新型コロナウイルス感染症などの影響により、プログラムの内容が一部変更になる可能性がありますのであらかじめご承知おきください。

【問い合わせ先】

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
独立行政法人国立青少年教育振興機構
教育事業部 事業課（担当：白石・苫米地）
TEL:03-6407-7683 FAX:03-6407-7699
Mail:honbu-taiken@niye.go.jp